



世界自然遺産の島
屋久島

No.28
平成26年
12月

屋久島町 議会だより



明るく元気でがんばる一湊小学校の子どもたち
シリーズ（学校紹介）⑤一湊小学校（P15へ続く）

《主な内容》

- ◇第3回定例会 P2～14
- ◇総括質疑 P3
- ◇常任委員会報告 P4～6

- ◇庁舎問題特別委員会報告 P7
- ◇一般質問 P8～14
- ◇シリーズ[学校紹介] P15

9月定例会の報告

9月10日から22日

まで第3回議会定例会が開催され、平成26年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算6件、条例5件、報告2件、その他2件の議案が提案されました。また、平成25年度歳入歳出決算認定案9件が決算審査特別委員会に付託されました。

条例の一部改正

○町営船使用料条例の一部改正
正Ⅱ〔口永良部島島民を対象とした町営船使用料の減額を行うための改正〕

○一般会計補正予算(第4号)
1億3435万1千円を増額し、総額を9億8248万1千円とするもの。

【主な歳出】

○尾之間支所空調設備改修費
Ⅱ370万円

○町営住宅管理条例の一部改正
正Ⅱ〔中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴う改正〕

○社会保障・税番号制度システム整備費Ⅱ246万2千円
○庁舎建築用木材のストックヤード賃借に係る経費Ⅱ144万9千円

○寡婦医療費助成に関する条例及び福祉事務所設置条例の一部改正Ⅱ〔次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部改正に伴う改正〕

○障害児支援費Ⅱ379万5千円
○国民健康保険特別会計繰入金Ⅱ689万1千円

○人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正Ⅱ〔地方公務員法の一部改正に伴う改正〕

○成人肺炎球菌及び水痘予防接種委託料Ⅱ646万7千円
○ヤスデ駆除用薬剤購入費Ⅱ126万6千円

○山岳部し尿運搬に係る経費Ⅱ300万円

○山岳保全基金積立金Ⅱ300万円

○鳥獣被害防止対策費
Ⅱ1480万8千円

0万円

○島内産材需要拡大対策補助経費Ⅱ309万3千円

○安房主要幹線側溝整備工事費Ⅱ600万円

○温泉川(平内)護岸工事費Ⅱ800万円

○環境共生住宅(宮之浦)排水工事費Ⅱ550万円

○熊毛地区消防組合負担金Ⅱ680万8千円

○火山対策経費Ⅱ345万円

○小学校施設修繕費Ⅱ295万円

○幼稚園就園補助経費Ⅱ367万8千円

○特別会計補正予算

◇簡易水道事業(第2号)

施設修繕に係る経費等を繰上充用金の減額で調整し、総

額に変更なし。

◇国民健康保険事業(第1号)

後期高齢者支援に係る経費他1843万5千円を増額し、総額を6億4787万1千円とするもの。

◇介護保険事業(第2号)

介護給付費準備金に積み立てる経費他2933万4千円を増額し、総額を21億8331万2千円とするもの。

◇診療所事業(第2号)

施設修繕費に係る経費等を医薬材料費等で調整し、総額に変更なし。

◇船舶事業(第2号)

印刷製本費に係る経費7万2千円を増額し、総額を3億

2211万3千円とするもの。

◇電気事業(第1号)

高低圧線改修工事費400万円を増額し、総額を7億268万4千円とするもの。

その他

◇屋久島辺地総合整備計画の変更

◇口永良部島辺地総合整備計画の変更

◇物品の取得について

・小中学校用の屋久島産材を使用した机・椅子250セットの購入Ⅱ756万円

・栗生ふれあい加工センターの半自動バキュームシーマーの購入Ⅱ658万8千円

以上の全ての議案を原案のとおり可決した。

陳情

○木造構造庁舎建設に対し集落共有林の利用に関する陳情Ⅱ不採択

○2015年NPT再検討会議に向け核兵器全面禁止、非核平和の諸活動へのご協力をお願いの陳情Ⅱ一部採択

○庁舎の位置に関する陳情Ⅱ不採択



平内の温泉川

総括質疑

総括質疑

所属する委員会以外のことについて
本会議で質疑を行なうものです。



島内産材を使用した机・椅子

歳出のし尿対策費に
998円という歳入
までの試算は48万4
経費をあわせ7月末
し、し尿、その他の
6万3692円に対
までの募金額133
694円、昨年度の
として1287万8
報告があつたが、当
初予算を含めて山岳
部の保全基金と保全
のための支出は。

問 今年度の支出額
として1287万8
694円、昨年度の
繰り越し残と7月末
までの募金額133
6万3692円に対
し、し尿、その他の
経費をあわせ7月末
までの試算は48万4
998円という歳入
歳出のし尿対策費に

問 物品の取得について机、椅子のセットの単価は。
答 1セット2万8千円。
問 入札は道免家具1社だったのか。
答 企画自体が道免家具が製作を行っているの見積りは当初から1社で行っている。
問 机、椅子の材料について、島内産木材を使用し、島内の製材所で加工と製材会社は特定され、ことと契約するところまで立ち入っているのか。

問 製材は地元、有水製材所で加工ということで処理をしてもらっている。
問 宮之浦、口永良部島間航路運賃割引検討会の中で証明書とあるが住民票を取るのに200円かかるのでプラスマインゼロになると思うがどう考えるか。
答 もう一度検討します。
問 山岳部の保全対策費で本年度基金がマイナスになると報告があつたが、当初予算を含めて山岳部の保全基金と保全のための支出は。

問 熊毛地区消防組合負担金の詳細は。
答 本部共通経費はマイナス11万5千円、北部分遣所がプラス323万6千円、南部分遣所が368万7千円。北部、南部ともに人件費の調整ほか気管挿管の実習費、潜水器具等の購入等も含まれている。
問 平内の温泉川の護岸工事の内容は。
答 延長が18m高さ約4mから5mで、約90mから100mについては横の防護柵工も改修しなければならない。

係る経費で今進んでいる。
問 新高塚小屋でトイレの不備があるとの事だがその対応は。
答 不備はトイレではなく建物のドアが閉まりにくいなど色々でている。
問 庁舎建設に伴うストックヤードの場所はどこか。
答 元岩川銘木の工場跡である。



各種装備の充実は(屋久島北分遣所)



庁舎建設用木材ストックヤード予定地

議員表決一覧 (賛否の分かれた議案等のみ) ○は賛成 ●は反対 ※ 議長を除く

件名	結果	議員名	石田尾	日高忠	緒方	永野	山崎	真辺有	岩川修	小脇	下野	岩川俊	日高豊	真辺万	寺田	渡辺	満園
庁舎の位置に関する陳情	不採択		○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●

常任委員会審査報告

付託された議案を質疑、討論し採決まで行います。

産業厚生常任委員会

本委員会に付託された案件は条例案2件、補正予算案6件の計8件で、主な質疑応答等は次のとおり。

寡婦医療費助成に関する条例の一部改正

問 今回父子が入ったがこれまではなかったのか。
答 父子についてはなかった。



島内産材の消費拡大対策は(安房貯木場)



電気柵設置工事(平野)



供用開始して4年目に入った火葬場

10月1日から新たに父子まで補助の幅が拡大された。

問 金額はいくらか。

答 4千円を超える分について助成する。

問 町民へ周知しなくていいのか。

答 町報などで広報したい。大事なことなので知らない人がないように周知を徹底して、みんなが平等に利用できるようにしたい。

きるようにしてもらいたい。

一般会計補正予算【分割】

問 塩分摂取量簡易測定器とはどのようなものか。

答 早朝、尿に含まれる塩分の量から一日の塩分摂取量を統計的に計算する機器である。

問 今回胃がん・大腸がん検診をしないということだがどうしてか。

答 他市町は年1回であり、検診車が他市町を回りきれないということと春の検診1回ということである。

いあり、島外で材としてどのように入用されているのか。

答 島内で消費されるのは生産の1割、9割は島外。また、AとB材については熊本の本島木材で屋久島ブランドとして販売したいというので協議している。1立方あたり1万1千円程度で販売している。

問 CとD材については志布志の業者に販売して、そこが台湾・中国へ輸出しているとのことである。森林管理署並びに森林整備公社は今までどおり合板用にも出荷している。

問 鳥獣被害対策費の中身は。

答 電気柵は平野3地区、麦生2地区を予定している。

問 場所の選択の基本的な考えは。

答 被害調査を踏まえ、農業を専業としてやっているところからやる。

問 火葬場の地下貯蔵タンク定期点検業務委託は定期と書いてあるのに、たまたま業者が来たから点検したと説明があったが、定期的な不定期なのか。

答 3年に1回の定期という意味である。

問 し尿搬出手数料の25年度はいくらか。

答 1904万5264円であり、これには人件費等も含まれている。

問 入山者からの協力金は何%か。

答 H25年度は46・4%で、H24・23年度は30%ぐらいである。

問 半数以下である原因は何なのか。

答 募金制度は強制的な制度ではないことや山岳の保護保全へのアピールが足らなかつ

常任委員会

たのではないが、し尿対策に相当経費がかかることを屋久島に渡るときからアピールすることで納得してもらいたい。今後企業まわりもして、地元観光業者も含めて周知を徹底したい。

問 山岳のし尿処理経費と募金の収支バランスをもう一度詳しく教えてほしい。

答 3年前から26年度で枯渇するという意見があった。事実そういう状況になっている。25年度は企業から高額寄付があり500万円あまりの残額があった。しかし、現在では80万円の収支状況でありかなり厳しい。これから収入を高めていくには、9割の収入がある車両協議会やレクリエーションの森協議会と議論していかないといけない。

問 宿での食事の不満をよく耳にすると聞いたが苦情などあるか。

答 以前からある。一方で人気がある宿もある。島のものを食べさせる工夫があるところがいいようだ。指宿の日本一の宿に学びたい。そのため、宿泊部会の食の研修会を

行うことにしている。
問 危険家屋解体補助金の実績は。
答 4月から現在まで4件、120万円支出している。現在も3件問い合わせがある。
問 平内の温泉川の工事費について総括質疑で同僚議員からいろいろ調べてほしいとあったが、町は次の段階として考えているということ認識しているのか。
答 河川にかかっている以上、構造上の問題や申請関係の問題もあるので今後調査する。当該者とも話をして今後検討したい。

国民健康保険事業特別会計予算

問 高齢者医療の限度額適用は低所得者だけか。

答 そうである。
問 後期高齢者の数と納期8期の場合の収納率について税務課と意見交換してほしいが。

答 25年度2143名で、収納8期を増やしてほしいとの意見もあるので意見交換したい。

問 今後の保険税の見直しはどうか。

25年度見直しで法定外繰り入れがなくなる形で税率を算定したが、それでも7000万円の赤字が出た。今後毎年1億円ぐらいの赤字になると思う。

問 毎年赤字が出る要因は何か。

答 医療費の増である。保健指導もそこまでできていない。

問 現在の要介護者数は。

答 708名で居宅397名、地域68名、施設143名、サーピスを受けてない方が100名である。

意 地域包括支援センターを含めて有資格者を入れる努力をしていただきたい。利用者を第一に考えて介護・福祉・健康の3課が連携を強化して欲しい。

以上、討論採決の結果、原案のとおり可決すべきものと

した。

第4回臨時会

10月27日、第4回臨時会が開催され、条例改正1件、その他5件の議案が提案されました。

◆一般会計補正予算(第5号)の専決処分報告承認

9月23日宮之浦地区を襲った集中豪雨により社会福祉施設や町道、林道、河川及び農地に被害が発生し、その復旧のための経費として、2235万6千円を増額し、総額を97億483万7千円とするもの。

◆役場の位置を定める条例の一部改正Ⅱ(本庁舎建設に伴う改正)

庁舎位置を平成30年4月1日から、屋久島町小瀬田849番地20に改めるもの。

◆防災行政無線設備設置工事(戸別受信機設置2工区)請負契約の締結について

屋久島電気設備協同組合と5106万7800円で契約するもの。

◆財産の取得について

庁舎建設用原木を屋久島森林管理署より972万円(3619.8㎡)

で買い受けようとするもの。
 ◆一般会計補正予算(第6号)
 5951万8千円を増額し、総額を97億6435万5千円とするもの。
 以上全ての議案を原案のとおり可決した。

議員表決一覧 (賛否の分かれた議案等のみ) ○は賛成 ●は反対 ※議長を除く

件名	議員名	石田尾	日高忠	緒方	永野	山崎	真辺有	岩川修	小脇	下野	岩川俊	日高豊	真辺万	寺田	渡辺	満園
役場の位置を定める条例の一部改正	結果	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○
防災行政無線設備設置工事(個別受信機設置、2工区)請負契約の締結について	結果	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

総務文教常任委員会

本委員会に付託された案件は、条例案3件、予算案2件、その他の案件1件の計6件で、主な質疑応答は次のとおり。

町営船使用条例の一部改正

問 町営船の口永良部町民の割引料金の減額分は、どこが補填するのか。

答 県から制度の紹介があつておこなったが、補填は国と県がその一部を担うことになっている。

更 屋久島辺地総合整備計画の変

問 辺地総合整備計画に、いま防災無線の事業を組入れる理由は。

答 当初その予定はなかったが、県との協議の中で、辺地債活用の可能性を探るべく変更した。

一般会計補正予算

問 庁舎建設用の木材のストックヤード契約について、なぜ費用をかける必要があるのか。

答 当初は宮之浦の病院跡地も検討したが、4mを越える原木の搬入は難しいことや資材置き場として強度に不安があることなどから断念、この

場所を選択した。
問 社会保障税番号制度のスケジュールと内容は。

答 H27年度1月から番号の附番を行い、同28年1月からカードを発行、29年1月から国、県、市町村間で情報連携を行う。内容は国民年金、国民健康保険、介護医療保険、後期高齢者医療、児童手当、子育て支援、障害者福祉である。

問 防災無線の不備で死亡したとの理由で当該市が提訴されるという報道があつた。町内の一部地域で防災無線の放送を停止しているが、防災情報

報だけは提供する必要があると思うが。

答 地域の総会で防災情報を提供しなければならぬ町の立場を説明、理解を頂いた。新たなシステムで、どのように放送できるか調査中である。

問 学校のパソコン経費はオンラインのためか。

答 金岳始め12箇所が対象。一湊、金岳小学校はISDN回線だが、今回サーバーを交換する。

問 町営住宅の貯水槽清掃の委託はなぜ業者だけか。また毎年行うべき清掃であれば、毎年予算計上すべきではないのか。

答 業者は指名委員会に図つて決定しているが、現在、町内には1業者しかいない。予算は今後毎年計上する。

問 防災訓練を行った教訓は。

答 口永良部の噴火は訓練の時の避難場所とは違い、実際の避難先は地元の判断で番屋ヶ峰となったが、これは適当な判断だったと思う。要援護者の庇護については、消防団が概ね訓練通りの対応をしたと思つている。宮之浦での訓練では、海抜などの把握が十分にできていないことがわかつた。今後に生かしたい。



フェリー太陽切符販売所



宮之浦で行なわれた避難訓練



町営住宅給水塔

庁舎問題特別委員会報告

本年6月議会で設置された当委員会は、この間、現地調査を含み5回の会議を通じ、新庁舎建設に関して、とりわけ建設位置についてこれまでの経緯を検証し、意見集約を図りながら集中して審議を行なった。

7月2日に第1回目の委員会を開催し、審議の進め方を協議し、陳情の審査結果と委員長報告を9月議会で行うことと確認、合わせて現方式の非効率性や本庁舎の必要性などの共通認識を確認した。

7月7日に第2回目の委員会を開催、総務課長に新本庁舎建設の位置の選定や用地の確保についての基本的な考え方と、民有地取得に係る近年の町内での取引価格等の資料の提出を求めた。会議では、前回副委員長から提案された八つの視点「住民感情・町の歴史」「集落間の距離」「人口の推計重心」「経済性」「実現性」「防災拠点として」「機能性」「利便性」等を論点としての審議を諮った。しかし、委員より合併協定書の事務所の位置に関する付帯意見の取り扱いや評価について、現時点での各議員、議会としての意思の確認が最優先課題であり、審議や付託されている陳情審査の進行上必要なのはとの提案があった。それを諒として、その趣意に基づき審議を進行した。2名の委員より、「付帯意見は、新町の町民、議会、行政の意思を拘束するものではない」とあることから、新町の議会としてリセットして議論を尽くすべきであるとの意見が出された。しかし、他の委員からは、町民の融和と民意のバランスを保つ意味からも合併協定書の付帯意見を尊重・重視すべきとの意見が出され、それらに同調する議員が大勢を占めた。

7月29日に3回目の委員会を開催、当委員会に付託され

ている陳情に基づき、宮之浦の陸上競技場と野球場を社会教育課職員に説明を求め現地調査を行った。

8月27日に4回目の委員会を開催、次回を陳情審査の採決や意見集約のための最終の委員会開催日と定めその旨を諮り、当委員会としての意見集約と陳情審査の判断等も考慮した発言を各委員に促し、意見聴取を行った。全委員が発言をし、これまでの経緯経過を尊重すべきという意見が大勢を占め、仕切り直してアンケートや説明会等を実施し、議論すべきとの意見は少数だった。

9月5日に最終の委員会を開催、陳情者から意見陳述の要望が出され、全委員の了承を得、会長小池氏による意見陳述があった。その後、意見集約を行い、討論の結果、付託された陳情は不採択と決定した。

本特別委員会の設置目的は、近々提案される新本庁舎の位置に関する条例案件に議会として対応する意味での意見集約であり、新本庁舎建設という、半世紀に一度の大事業を執行部と議会、両者相応し啗啄同時に成し遂げんがためのものであった。加えて審議案件の内容から、全会一致での結論を見出したいと模索しましたが、委員間で終始考察や意見の隔たりがあり、委員の総意としての確定的な結論は最後まで見いだせなかった。

審議を閉じるに当たり、委員長報告の骨子として「屋久島の東部地区」「県道隣接か周辺」「一定の海拔と面積を有する場所」「遊休町有地を核とする場所」の四項目をキーワードに町長は用地を選定し、議会に提案されるべしとの案を委員会に諮り、大半の委員が了承、大筋での意見の統一性を確認し、委員長報告一任の承認を得て審議を終えた。

最後に、私見として、大多数の委員が、頓挫した昭和の合併、混乱した平成の合併の歴史から学び、町民の融和と民意のバランス保持に格別の配慮を示すことが町政発展の礎となるとの判断をされたと思う。

今後町長には、本庁舎の位置に関する条例案件は、特別多数決議の重要案件ではあるが、信念と矜持を持って提案されることを進言して、委員長報告とする。

第3回臨時議会

8月19日、第3回臨時議会が開催され、平成26年度一般会計補正予算(第3号)が提案された。

5199千円を増額し、総額を95億4813万円とするもの。

〔主な歳出〕

- ◇総務費 換地地区データ作成業務委託料 32万円
- ◇衛生費 旧火葬場解体設計委託料 330万円

ヤスデ対策に関する臨時職員の賃金 125万円
1千円
提案された議案は原案のとおり可決された。

一般質問

10人が町の考えを問う

9月10日、11日、16日に行なわれた一般質問を通告順に掲載しています。
この内容は、議会会議録をもとに質問者の責任において質問及び回答を要約したものです。
なお、会議録は議会事務局・町図書室・各集落の公民館で閲覧することができますので、
詳細については会議録をご覧ください。

介護保険サービスの充実策は
町長/いろいろな施策は第6期介護保険事業計画に盛り込みたい



真辺 有次 議員

問 西部地域の高齢者のデイサービスの利便を考えると一湊以西に通所施設を設置すべきと思うが。

答 デイサービスを提供できる施設整備を位置づけるよう努力する。

問 口永良部島の介護予防策と介護保険サービスの提供をどう捉えているか。

答 予防を重視し、医療・福祉・介護の連携により、いろいろな課題に即した対応を多面的に展開する。

問 増加傾向にある認知症の方々やその家族などへの対策をどのように考えているか。

答 早期に対応するため、関係機関と連携して「高齢者ネットワーク会議」「認知症高齢者見守りネットワーク」

を設置して取り組んでいる。今後も継続して支援する。

問 認知症の早期対応と早期治療のため家族に対し、早めの対策をとってもらうための呼びかけや専門機関などに早めに相談できる態勢づくりと町民への広報や指導助言が必要では。

答 そのようにしたい。また、町報9月号に認知症のことについて掲載している。

問 居宅介護支援事業所のケアマネジャー・ホームヘルパー等の不足をどう受け止め、どう対処するつもりか。

答 各事業所の動向を見極めつつ情報交換、連携を図りながら人材確保について支援してまいりたい。

問 ケアマネジャーやホームヘルパーの資格取得や講習会は屋久島でできないか。また、それが不可能であれば島外での資格取得のために、町が何らかの支援はできないか。
答 そのようなことも含めて

介護保険運営協議会で議論してほしい。

問 介護保険担当課に制度に精通した有資格者や経験豊富な職員を専任配置すべきと思うが。

答 26年度職員採用試験の受験資格に「社会福祉士」「健康運動指導士」の有資格者を要件にしている。

問 地域包括ケアシステム構築に向けての取り組み状況と今後の展望については。

答 在宅での医療と介護の連携については、2025年を見据えた計画策定のための準備を進めている。これを受け第6期（平成26〜29年度）介護保険事業計画に盛り込む予定である。



要介護者の受入れ体制は(縄文の苑)

行政執行に関する検証と提言について



小脇 清保 議員

①ふるさと納税について

問 ふるさと納税（寄附）は全国的な盛り上がりを見せ、その実績の伸びは著しい。背景には、税の優遇と自治体が寄附の御礼として地元の特産品を送る動きが制度の活用につながっている。我が町にも特産品はいっぱい存在する。他の自治体に遅れを取らない様、推進室を設けて取り組むべきと思うがどうか。

答 推進室の設置は難しい。現在、屋久島だいたすき寄附金、かごしま応援寄附金を受け入れ、25年度実績で285万円を活用させていただいている。行革で人員も削減している事もあり推進室の設置は難しい。
問 インターネットで作る



建て替え計画は(町営住宅(安房))

と、難しい事ではない。税金ではないので、農業振興なり環境保全なり、いろいろに活用できる。推進すべきである。

②空港拡張の陳情の前に給油設備の設置が先ではないか

問 羽田からの観光客の実績を作ってから空港拡張の申請である。現在のQ400で給油設備があれば可能である。

答 少なくとも1800mの拡張がなければ屋久島の将来はない。空港の延長は自分の正念場でやらなければならぬと思うている。



経営改善策は(森林組合)

③公営住宅は改築の時期ではないか

答 建てかえとなると相当な費用が見込まれる。財政当局とも連携をとり検討する。

④森林組合の経営状況は把握しているか

問 平成17年に4000万の公費を投入したにも拘らず1000万以上の未処理欠損がある。幹事は副町長と議選一名のはず。守られているか。

答 御指摘の形が約束事であるのであれば、次回の改選の時期に合わせて検討する。

口永良部島の防災体制について
町長／新たに避難所を新設したい



石田尾 茂樹 議員

問 今回の新岳の噴火による島民の一時避難場所の現状認識と新たな避難所の新設と既存の避難所の環境整備について。

答 今回の噴火で、住民が自主的に判断し番屋ヶ峰へ避難

したことは、よい選択であった、番屋ヶ峰に位置するNTT局舎を避難所の拠点として推進する計画で、施設の改修、ライフライン、アクセス道路の整備等を対処したい。

問 牧道岩屋泊線の整備と岩屋泊からの避難について。

答 旧町時代避難道路として整備をした、岩屋泊には避難所とヘリポートを最終的に設置したいとの思いである。

問 合併後北部、南部の税金納の現状と収納率向上の対策について。

答 合併後においては、全税とも毎年度増となって、旧来の収納スタイルが定着し効果を上げている。滞納者について差し押さえ等を実施し、滞納額の縮減に取り組んでいく。

税の徴収体制について
町長／現行の方式を継続したい

問 合併後北部、南部の税金納の現状と収納率向上の対策について。

答 合併後においては、全税とも毎年度増となって、旧来の収納スタイルが定着し効果を上げている。滞納者について差し押さえ等を実施し、滞納額の縮減に取り組んでいく。

問 納税相談員制度について。

答 収納率から、内部と検討する。



番屋ヶ峰の旧NTT局舎



岩屋泊への道路

島の観光の在り方と、その改善策の必要性は

町長／奄美の世界遺産登録に向け、連携し相乗効果を



日高 忠見 議員

問 高齢化社会へ向け、縄文杉登山の負担軽減に対応する必要があると思うが、旅客森林鉄道の可能性は無いのか。

答 地域振興、活用効果から魅力ある事と思うが、実施には莫大な費用がかかり無理がある。しかし、可能性は探って行きたい。

問 小杉谷の学校跡地を利用して研修センターに準ずる様な施設があれば多種対応が望めるが。

答 環境学習や山岳マナーの研修も受けてもらうビジョンセンター機能を持つ施設をとも思うが、国立公園内でもあるので、関係機関とも慎重に協議を進めたい。

問 近々、奄美が世界遺産に登録されると、島の来客数の減少が危惧される。そこで奄美〜屋久島の航路、空路の開設が望まれるが。

答 必要性の認識から、関係者との協議もやっている。実現の可能性は充分あると思う。



森林軌道の活用は

今後減額される地方交付税 財源の生産は

町長／一次〜三次産業まで事業執行に依り産業振興に取り組んでいる

問 豊かな環境、暮らしを求めて、行政としての事業展開も必要と考えるが、町長の意識は。

答 各種セミナー、雇用創造推進事業の実施で対応、又山中で発見した酵母菌の活用により、たんかん酒の商品化も見込まれる。

問 島の資源として水が豊富だが、30年程前の「水の輸出プロジェクト」、地方分権を国も提唱している今、再挑戦してみたい。

答 水ビジネス市場が拡大している事の認識はある。輸出と云うより、水力エネルギーによるCO₂フリーの島を目指したい。

畜産振興対策
肉用牛貸し付けに関する
条例の有効的啓発は

町長／畜産農家を育成するために検討したい



満園 明 議員

問 屋久島肉用牛貸し付けに関する条例を有効的に畜産部会員へ啓発する考えはないか。

答 この条例は旭牧場の雌牛を一定期間貸し付けているものです。現在、町営牧場は黒字経営にするため増頭中です。牧場の収支を勘案し、財政とも協議をし、牧場の位置づけの変更も含め検討したい。



旭牧場

一般質問

荒川線・淀川線の今後の維持管理は

町長／平成28年度より防災安全社会資本整備交付金事業により着工する予定である

問 南部林道の今後の維持管理は。

答 総延長16・1kmに及ぶ林道は平成27年10月ごろを目処に完成の運びとなります。その後につきましましては、一遍きちんと刈りばらいをした後で関係集落にお願いするとうような方法を内部で検討したい。



今後の維持管理は(荒川線)

新庁舎完成後の尾之間・宮之浦支所の利活用は強化も含めて十分協議を行う



山崎 利広 議員

問 新庁舎完成後の尾之間・宮之浦支所の利活用は。

答 庁舎建設と並行し組織機構改革を含めた庁内体制の整備について検討を行う。また、支所・出張所の在り方について各集落との連携強化も含め充分協議を行う。

問 尾之間支所の近くを通っている温泉の配管を利用し、足湯等の整備を行い、高齢者の憩いの場としての活用は。

答 湯量が十分であれば足湯等もいと思う。また、非公式だが、尾之間老人クラブより4階フロアの解放やJAより庁舎を使用



支所の有効利活用は(尾之間支所)

したいとの話しが来ている。

問 支所の有効利活用に関連し、高齢者等弱者に優しい施設づくりを目指し、隣接する中央公民館にスロープの設置や2階のトイレに女性用を新設する考えは。

答 付随した施設も含めて、手を入れる必要があるものは整備し、有効的に利活用していきたい。

尾之間果樹試験場のこれまでの取り組みと今後の展望は

町長／今後、夏場に収穫できる亜熱帯作物の試作検討等内容の重点化を図る

問 果樹試験場のこれまでの取り組みと今後の展望は。

答 これまで垂水1号の育種や薩州ポンカンの特性の解明、病害虫の防除、ポンカンの品質向上等に取り組み、島のポンカン、タンカンの産地育成に寄与してきた。今後は、ライチ・リュウガン等、ポンカン・タンカンの農閑期の夏場に収穫できる亜熱帯作物の試作検討など内容の重点化を図っていく。それに伴い空いた園地は、希望する農家への貸付けなど有効利用したい。

問 果樹等栽培技術の向上を図り、生産額アップ、ひいては農業振興のため担当職員の増員はできないか。

答 昔の配置と今の時代の流れの配置とは違うと思うので本庁舎完成後に各課の人員配置を見直したい。

第2回臨時会

7月14日、第2回臨時会が開催され、農業委員の議会推薦委員として次の3名の方を推薦することに決定しました。

○渡邊みな子氏(永田)



○神宮司守昭氏(二湊)



○笹原 綾乃氏(湯泊)



再構築すべき！口永良部島の火山災害対策
町長／実情に沿った防災計画を早急に作成する



寺田 猛 議員



番屋ヶ峰から望む新岳

問 今回の新岳の噴火は、いい意味で島民も役場も気象や火山の研究機関等も、お互いに『良か、たましい入れ』になったと感じている。私も何度か防災訓練に参加しているが、今回の噴火で、防災体制や危機管理体制の、見直しが必要だと強く感じた。島内での一時的な避難、島外への二次避難。屋久島での避難所の確保や整備等の防災マニユア

ルを再検討し実情に沿った形態にし、早急に体制を整えるべきではないか。

答 今回の噴火は、これまで想定されていない台風による南風が影響し、噴煙や大量の火山灰が住宅地に迫り危険にさらされた。これらを教訓として今後は番屋峰に位置するHNNT局舎を避難所の拠点として無償で譲渡していただき、必要最小限の備品等を至急設置するため補正予算を計上した。既存の防災計画を今一度精査し、住民の意見を集約した上で、関係機関と連携の元実情に沿った防災計画を早急に策定する。屋久島内での二次避難所の指定や条件整備も急いで検討したい。

口永良部島診療所の、常駐医師募集方法を再検討しては

町長／医師人材派遣サーブिस企業等の活用を内務部で再検討したい

任期を一年残しての公約の到達度と政治的な諸課題は何か

町長／課題は山積している、引き続き問題解決に向けて努力する

問 何を成し得、何が残ったか。
答 新庁舎建設は緒についた。空港整備は具体的になりつつある。他の山積する課題に職員を努力を促し鋭意取り組む。



新庁舎建設用地(小瀬田)

子供の貧困をなくすために、子供医療費の無料化拡充を

町長／来年度可能か協議したい



渡辺 博之 議員

問 宮浦小学校における子供で、虫歯にかかっている子は本年度58%で、他町と比較しても高い傾向にある。治療率はH25年度で69%。学校の努力で改善されているが、なお3割の子供が虫歯を治していない。経済的理由から医者にかかれない子供もいる。子供の貧困をなくすためにも熊毛の他市町並みの子供医療費の拡充が求められている。考えはどうか。

問題ではない。苦しい財政の中で、近くの種子島1市2町が実施する中で屋久島町だけやらないでいいのかという問題だ。この要望には、子供を持つお母さん達を中心になつて行った署名活動に賛同し、名を連ねた200名近い町民の思いがこめられている。この思いにこえ、町長は決断すべきだ。

答 多くの財源を伴うが、来年度でできるかどうか、担当課と協議したい。

意 これは、お金の



虫歯をなくそう

庁舎問題は歴史の検証に耐えうる判断を

町長／住民の意見、自治法に基づき進めている

問 合併協議会の付帯意見の「町民は拘束されない」は、改めて町民の意思を確認すべきということだが、町民を除き町と議会だけでことをすめようとしている。また地方自治法の第4条2項はわざわざ法律で規定している重要事項だが、ここも欠落したまま庁舎位置の決定は進められている。歴史の検証に耐えうる政治とは言えない。

答 住民の意見は、ワークショップなどを通して聞いている。場所については、港、空港からの来島者の利便性、法務局や警察署、県屋久島事務所などの官公舎などとの連絡調整に最も適した場所を選定することで、地治法4条2項の規定にもとづいた決定になると確信している。

屋久島の価値の向上のための施策は

町長／屋久島憲章に基づくらしき



日高豊 議員

問 就任3年を迎え、これまでの政策推進については、荒木町政の個性というものを感じないがどうか。

答 荒木らしい政策の展開が出来ているかについては、心もとない気もするが、現実の中で今後目が出る下準備は

行っている。

問 島の価値向上のためには、内外に共感を得られる政策が求められるがその方向性は。

答 屋久島憲章を基本とした島づくり。島の景観、人の暮らし、全産業が方向性を一にし、物だけでなく本当の豊かさを屋久島らしく追求していくことが求められている。

問 政策実現に必要なことは何か。

答 町が目指すべきものの明確化と関わる人の情熱の共有。

問 農家の経営安定に資する為には、せっかくある屋久島のブランド力を農産物に付加価値として付ける必要がある。そのためには農産品等の屋久島ブランド認証、生産認証の仕組みを町が中心となり取り組んでいく必要があるが。

答 農産物の屋久島ブランドの取り組みは意義あることだと考える。実施にはかなりの課題が想定されるので、実施に向かいその検討研究を進める。

屋久島ブランドの必要性は

町長／付加価値付けには意義あること

問 農家の経営安定に資する為には、せっかくある屋久島のブランド力を農産物に付加価値として付ける必要がある。そのためには農産品等の屋久島ブランド認証、生産認証の仕組みを町が中心となり取り組んでいく必要があるが。

答 農産物の屋久島ブランドの取り組みは意義あることだと考える。実施にはかなりの課題が想定されるので、実施に向かいその検討研究を進める。



環境保全政策は(安房川の景観)



屋久島ブランド認証の仕組みづくりを(小島のダンカン園)

議会全員協議会報告

◎平成26年9月9日開催

1 屋久島町廃棄物減量等推進協議会設置の伴う委員の推薦について

一般廃棄物の減量及び適正な処理に関する基本的な事項を協議するため標記委員会を設置することに伴い、議会より2名の委員推薦の依頼があり、協議した結果、下野次雄議員と小脇清保議員を推薦することに決定した。

2 第4回種子島屋久島議員大会提出議題について

10月8日に中種子町で開催予定の第4回大会の提出議題について協議を行い、本町からは「不被害虫等蔓延防止対策に対する財源支援について」と「鳥獣被害対策について」を提出することに決定した。

◎平成26年11月25日開催

1 屋久島町電気事業運営協議会の委員推薦について

屋久島町の電気事業における運営等について協議するため標記の協議会へ議会より2名の委員推薦の依頼があり、協議した結果、眞邊有次議員と永野正義議員を推薦することに決定した。

2 屋久島観光協会からの要望書について

屋久島観光協会から、運営に関する財政支援についての要望が議長にあり、要望書と平成26年度の予算執行状況について説明を受け、質疑を行った。議員からは「予算の提案は執行部であり、議会はあくまでも参考意見として聞く」ということになった。

教育問題について

分教室の今後の推移は

教育長／離島の特別支援学校の設置は卒業後の実社会での活動を前提として研究すべき



岩川 修司 議員



県立中種子養護学校

問 分教室問題の今後の推移は。

答 離島における特別支援学校の設置、生徒数、卒業後の実社会での活動を前提として研究すべき課題。

問 請願採択後の進捗状況は。

答 数回にわたって県教育委員会に対し、電話や直接訪問し関係保護者の方々の願いを伝えている。

問 今後の推移は。
答 本町の中学生の大事な進

路のことですので、屋久島に分教室を考える会・屋久島高等学校などと連携を密に県教育委員会への情報提供に努める。

支援学級の必要性は

教育長／平成27年度の開設を考えている

問 安房中・中央中では支援学級で生徒が学んでいるが、岳南中での開設の必要性は。

答 岳南中学校区内において、6年生の中に障害のある児童があり、支援学級があれば入級の希望がある。5年生以下にも必要とする児童が在籍しており、平成27年度の学級開設を考えている。

行政改革について

問 年度末に課長職退職者を半年前に参事職とし、新課長を配属する考えは。

答 年度末にかけた時期に重複したコストの登用は、たいへん難しい。

問 職員退職後の事務手続き等の折、費用弁償は支払っているか。

答 支払っていない。

議会動向〈平成26年9月～11月〉

平成26年

- 9月 4日 第6回議会運営委員会
- 5日 第5回庁舎問題特別委員会
- 9日 第3回屋久島町議会定例会開会(～9/22まで)
第12回議会全員協議会
- 15日 各集落敬老祝賀会
- 16日 総務委員会口永良部島現地調査
- 20日 県民体育大会(～9/21まで)

10月

- 3日 決算審査特別委員会
- 7日 熊毛地区消防組合議会定例会
- 8日 第4回種子島屋久島議員大会(中種子町)
…全議員出席
- 16日 産業厚生常任委員会台風災害調査
- 19日 第7回町民体育祭(宮之浦陸上競技場)
- 23日 決算審査特別委員会現地調査(屋久島分)
- 24日 第7回議会運営委員会
- 27日 第4回屋久島町議会臨時会
- 28日 決算審査特別委員会(～11/13まで)
- 30日 離島議長会行政調査(長崎市沓岐市) …議長出席

11月 5日

- 屋久島町戦没者追悼式(安房総合センター)
…全議員出席
- 7日 第2回庁舎問題特別委員会(尾之間支所)
- 8日 県町村議会議長会第2回理事会…議長出席
市町村政研修会(市民文化ホール)
- 11日 離島振興市町村議会議長全国大会(東京都)
熊毛地区植樹祭(中種子町) …副議長出席
- 12日 町村議会議長全国大会(東京都)
- 13日 熊毛郡町議会議長会行政調査(熊本県あさぎり町)
- 16日 第7回屋久島町駅伝大会
- 17日 種子島屋久島議会議員大会採択事項要望活動
県後期高齢者医療広域連合会第2回定例会
- 18日 産業厚生常任委員会所管事務調査(20日まで)
- 19日 総務文教常任委員会所管事務調査(21日まで)
- 25日 菊陽町・屋久島町姉妹盟約20周年記念植樹祭
(安房総合センター)
第13回議会全員協議会
- 27日 県町村議会議長会第3回理事会…議長出席
- 28日 第5回屋久島町議会臨時会
- 30日 関東屋久島会(東京都) …議長出席

シリーズ学校紹介⑤

一湊小学校

本校は、昭和48年に吉田小学校、志戸子小学校、一湊小学校の3校が統合し、現在に至っています。校区内には、縄文土器で有名な松山遺跡、国指定天然記念物のヤクシマカワゴロモの生息地、志戸子のガジュマル園、東シナ海に沈む夕日の絶景地（吉田）、一湊海水浴場等があり、多くの観光客が訪れています。

今年度は、児童数の減少に伴い、1・2年生と3・4年生が複式学級となり、全校児童46名、P戸数34戸となりました。

【一湊小の教育】

【校訓】「明るく 元気で がんばる子供」

【教育目標】「自ら学び、自ら考え、心豊かで人権を大切にし、たくましく生きる一湊の子供を育成する。」

【合い言葉】「あいさついっぱい やさしさいっぱい やる気いっぱいの一湊小」



【一湊小の特色ある教育活動】
○ 海亀のふ化と放流活動
毎年、「屋久島うみがめ館」の協力を得て、校内の孵化場で海亀の卵を飼育し、孵化した子亀を放流する活動を行っています。放流時には、近くの一つ浜（一湊）に多数の児童と保護者が集まり、30年後の再会を祈って放流します。また、孵化後の調査も実施し、命や環境保全の大切さ等を学んでいます。



○ 自然体験活動

秋の1日遠足を兼ねて、隔年ごとに屋久杉ランドや白谷雲水峡で、屋久島の大自然に触れる活動を行っています。今年度は、白谷雲水峡を経て太鼓岩まで登りました。

1年生も最後まで元気よく歩き通し、頂上に着くと疲れも忘れ、達成感とともに雄大な景色を眺めて歓声が湧きました。森の様子を見たり、鹿にも遭遇したりして、有意義な自然体験ができました。

○ 読書活動

各学期ごとに、「読書旬間」を設定し、読書標語・読書郵便・読書ニュース・お楽しみくじ・図書委員や職員のお読み聞かせ、多読者の表彰等を行って、子どもたちの読書への興味・関心を高めています。また、毎月各学年1時間を読み聞かせの時間として設定し、地元の読書グループ「ルピナス」さんから本の読み聞かせをしていただいています。子どもたちの発達段階に合わせて本を選定していただいております。どの学年も興味をもつて聞いています。

【一湊小のPTA活動】

P戸数の減少に伴い、3つの専門部に保護者（父母）全員が所属し、活動しています。今年度の共通テーマは、「ふれあい・対話・深めよう親子の絆」で、サブテーマを「食育の充実と生活リズムの習慣化を目指して」とし、来年1月のPTA活動研究委嘱公開での発表に向けて取り組んでいるところです。

また、これまでのPTA活動が評価され、今年度「日本PTA会長表彰」を受賞しました。これを励みに、今後も家庭や地域と共に、一湊小学校の子どもたちの健全育成に努めていきたいと思えます。

お詫び

前号（No.27）の議会だよりで誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

◇5ページ5段目

正〃それは、運輸施設整備支援機構との共有船として建造し…

誤〃それは、民間の船舶会社と共有名義で建造し…

投稿写真

溝口 康昭様 (尾之間)



いつも心に太陽を!!(ドラゴンフルーツの花)

クイズ

問①島内材の需要率は。

() 割

②一湊小学校の複式学級は。

(・ 年生と ・ 年生)

③防災行政無線設備工事(2工区) 請負契約額は。

() 円

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記の上、ハガキで下記へご応募ください。

- 平中 順子様(尾之間)
- 寺田 夢菜様(宮之浦)
- 伊藤 芳晟様(安房)

◆締切日

平成27年2月6日(金)消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

屋久島町議会事務局

クイズ係

電話 43-5900

(内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 口永良部(会場)

問2 350(人)

問3 5(回)

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に図書券をお贈りしました。

議会を見にきませんか

・だれでも自由に傍聴できます。
・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは：宮之浦支所議場

12月1日から5月31日までは：尾之間支所議場

編集後記

今年のNHK大河ドラマ「軍師官兵衛」の放送もまもなく終わります。

その官兵衛が息子の長政に宛てた遺言に、次のことが書いてあったそうです。

「神の罰より主君の罰、主君の罰より臣下百姓の罰を恐るべし」この言葉の意味は、神や主君は祈り、謝れば許されるが「臣下臣民に疎まれば必ず国を失う」というものです。

さて、今回のアベノミクス解散、本当に臣下臣民のことを考えてのことでしょうか？

どの候補者が当選し、どの政党が政権に就くのかわかりませんが、政治家のひとり一人が官兵衛の言葉を心に留めてほしいものです。(真辺)

発行責任者

議長 日高好作

編集責任者

議会広報委員会

委員長 山崎利広

副委員長 緒方健太

委員 渡辺博之

真辺有次